

告知

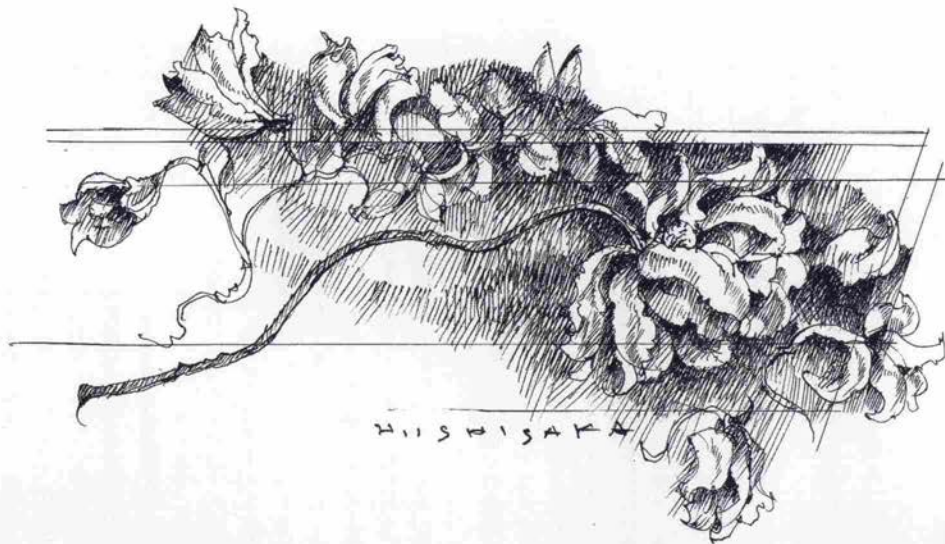
鈴木 漠 絵／石阪 春生

小鳥が来て明るくなる木末
どこかに季節を告知する者がいて
たぶんそれは抽^ひんでた射^い手
色彩の矢が放たれ、枝々は火の色に塗られ

果樹園にくだものは熟れ
農夫は収穫し、詩人は言葉について
それぞれの内なる思想を焚^いいて
あまねき降りそそぐ光の雨に濡れ

揺籠に揺られる幼児の熟睡^{じゅすい}
移ろうものは秋の一日のみではあるまい
澄みわたる水、風、雲その他

森羅万象ひとしなみに
ひたされる、時間のさざなみに
大いなるものが、今しも通り過ぎるのだ



■私の意見

神戸旧居留地に想うこと

山口 竹彦

(日本銀行神戸支店長)



私共日銀の建物は、昭和36年に建てられましたが、先の震災でもビクともせず、丈夫が取り柄といった建物です。旧居留地の一角、京町筋に建っているため「旧居留地連絡協議会」なる町内会に入れていると思います。

震災から四年近く経ち、旧居留地界隈は町会長の野澤さんをはじめとする皆さんの協力と結束もあり、昔の雰囲気強く漂わせた街並みに変身しつつあります。路を歩き、昔の建物を見ているうちに、港町神戸のノスタルジアとはこんなものかという街の味わいが出てきました。元来、日本人は「庭先をきれいにする」傾向が強いと言われます。和辻哲郎も名著『風土』の中で、日本人は「塀の内側だけをきれいにする。花を植えるにも家の中の人だけが楽しめるように植える」とか「塀の外も自分の家の前、隣の家との境までしか掃かない」と耳の痛いことを指摘しています。

そう言われれば、日本の街並みを見ると個々の家はそれなりに立派でも街全体の調和といった点からは首を大きくかしげたくることが多いように思います。欧米の場合は法律による規制による面も勿論あるでしょうが、それ以上に国民の美的なものに対する感性と自己規律が街並みの調和を支えているのではないのでしょうか。規制の緩和が行われ、規制の範囲内ならば何でもやれるというのが時代の流れですが、企業活動をみてもしっかりとした企業倫理をもつ企業こそがお客様の支持を集めているのは歴史の証明するところです。

規制と街づくり、街並みの確保は所有権に関係することだけに厄介ですが、世界から神戸の街を歩いてみたいと思ってもらいたければ、法律だけが万能ではない自己規律の効いた社会をつくることが大切でしょう。そうしたものが国の文化性を象徴し、海外からの信頼を集める「コア」を形成するように思います。旧居留地にそういう気概が強く感じられるのは、一市民として実に心強い限りです。

STEP GLOBALLY STEP NATURALLY

地球を歩く

自然に歩く

STEP COMFORTABLY

快適に歩く



足に合ったヘルスシューズで快適歩行

Japan's Premier Health-Shoe Specialist
高級健康靴と関連資材輸入・機材輸入



アリス

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通り 5-6-6
TEL: 078-382-2101 FAX: 078-382-2150
営業時間: 10:30 a.m. ~ 6:30 p.m. 年中無休

「最新の整形外科学の知識に基づいて作られたアリスの健康靴は、足に悩みをお持ちの方にはもちろんのこと、健康な足を健康に維持しようと思われる方にも、自信をもってお勧めできます。ドイツから招聘した整形外科靴マイスターが常駐し、お客さまの靴の調整・修理・足の健康管理のお手伝いをさせて頂くと共に、アリスでは、随時無料で足の相談をお受けしています。さらに、月に一度「相談日」を設け、整形外科医・技術専門家とマイスターが、お客さまの足の悩みに専門的に応える体制をとっています。お仕事にも、レジャーにも、フォーマルな場にも、長時間快適にはいて頂けるように、メンズ、レディース共に豊富なデザインをそろえていますので、是非一度お気軽にご来店ください。」



株式会社アリス 代表取締役
アリス・クリスチャンス

JR元町駅西へ歩いて5分
花隈駐車場入り口向い

酔眼流旅日記

第27回

ムラマツ宴会の歴史(四)

村松 友視〈作家〉

カッタ／灘本唯人
題字／筆者

「里見八犬伝」じゃないけれど、ムラマツ宴会の犬士たちは次々と集まってきた。まずはクマさん、ゲンベーさん(尾辻克彦)と赤瀬川原平)、南伸坊さん……こうやって顔を浮かべてみると、仁義礼智忠信孝悌の八犬士とは、私を含めてまるでちがう肌合いだ。ま、裏・八犬伝”とでも見立てたら何とかなるかもしれないのだが、そこへまたそういうジャンル分けが厄介な奴がひとり加わった。

糸井重里……という名前を、私は偶然に知っていた。今ならばともかくその頃の糸井重里は、業界では強面していたのだろうが、中央公論社なんぞというお堅い会社にいる私には、ふつうならばその名が届いてこなくて当り前という存在だったはずだ。ま、南伸坊編集長による雑誌「ガロ」に、糸井重里の文章が掲載されているとなれば、クマさんやゲンベーさんはもちろん糸井重里と会っているのだが、私にはあまり馴染みのない名前だった。やっぱり、ワタシも他のメンバーから見れば、しよせんは大手出版社のサラリーマン、サーチライトの幅もたかが知れたものだったというわけにあります。

ただ、妙なきっかけで私はうる覚えながら「糸井重里」の名を頭に刻んでいた。それは、矢沢永吉の「語り下ろし」といった趣の「成りあがり」

という本の奥付のところに、小さい活字で「構成・糸井重里」と印刷してあったのが、何となく記憶に残っていたためだった。

「こいつはね、生意気にジュリーなんて名前つけちゃってさ……」

伸坊さんに連れられて我が家へやって来た糸井重里を、クマさんはそう言って私に紹介した。すると、色が黒くて背が意外に高くて痩せた糸井重里が、

「そーなんですよー」

と、目を細めてペコリと頭を下げた。これが、糸井重里のムラマツ宴会へのデビューぶりだった。そのときは、糸井重里の才能も立場も価値も何も知らぬ私は、単なる伸坊さんのピンボー友だちだと思い、痩せすぎているからもう少し飯を喰った方がいいんじゃないかなどと、余計な心配をしたくらいのものでした。

だが、本棚から「成りあがり」を取って来た私に、「この本にサインしてくれる？」と言ってみると、糸井重里は奥付に印刷された自分の名前のよこに、それと同じくらいの大きさのサインをしてくれた。このとき、私は糸井重里という天才コピーライターのセンスの一端を見た思いがしたものであった。

さて、この新参者の糸井重里を何と呼ぶか……



私はそれに苦慮した。もともと知っている仲坊さんとゲンペーさんは「イトイさん」と呼んでいる。クマさんは「イトイ」と呼び捨てだ。私はどうしよう……というわけだ。あるときその悩みを打明けると、

「イトイでいいですよー」

と糸井重里に言われてしまった。そう言われた以上、「イトイ」と呼ばなければならなくなつたのだが、やがてイトイが私が思っているよりも世間に認められ、私が思っているよりも大物であることが判明し、私はふたたび悩みの淵へ落ちた。そういうイトイをイトイと呼んでいいのだろうか。ま、クマさんはいいでしょう、ああいうタイプなのだから。しかし、私のようなふつうの人間が呼び捨てというのは……と思うのだが、呼び方を途中で変えるのはやはりいやらしい。イトイをイトイさんにするのも、イトイさんをイトイにするのも、である。

そこで私は、居直つたようにイトイと呼ぶことにした。対談や座談会的时候は、何となくあとでごまかして、「糸井重里」とフルネームで呼んでいるようにしたり、インタビュのときは、「イトイ」と言ってから、「これは片假名のイトイだから」と言い訳したりした。そして、今も呼び方はそのままなのだ。何だか、中学校の先輩がそのまま威張っているようでまずいのだが、いったん決めたのを途中で変えるよりはまし……というのが、今のところの心持というわけである。

（むらまつ・ともみ）一九四〇年東京生まれ。慶応義塾大学文学部卒。六三年中央公論社に入社。「小説中央公論」「婦人公論」「海」編集部員を経て、八一年退社。八二年「時代屋の女房」で直木賞受賞。主な著書は『私、プロレスの味方です』『アブサン物語』『トニー谷、さんず』『鎌倉のおばさん』など。



編集長インタビュー



柏井健一（かしわい けんいち）

大正10年生まれ。昭和17年旧制甲陽高等商業学校卒業。
平成元年5月に柏井紙業（株）取締役会長、平成7年6月
に（株）神戸国際会館取締役社長に就任。神戸青年会議所
理事長、神戸商工会議所副会頭、神戸納税協会会長、兵
庫県公安委員会委員長などを務め、現在は兵庫倶楽部理
事長、東広野ゴルフ倶楽部理事長を兼任。

ドラマはここから始まる…

新しく誕生する神戸国際会館に馳せる夢

柏井 健一 株式会社神戸国際会館代表取締役社長

戦後、長年にわたって国際交流や芸術文化活動の
拠点として多くの人々に愛されてきた神戸国際会館。
残念ながら阪神・淡路大震災で被災し、取り壊され
てしまいました。そして誰もがその再建を待ち望ん
でいましたが、震災から四年、いよいよ来年の春に
リニューアルオープンを迎えます。そこで再建にご
尽力されている柏井健一社長に新しい国際会館の魅
力についてお話をうかがいました。

— いよいよ、来年の四月に神戸国際会館が新しくオ
ーブンしますね

柏井 神戸国際会館を再建するということは「画竜
点睛」といいますか、復興していく神戸の街に、目
に見える形として最後に目玉をいれるといった感じ
がしますね。震災以降、本格的な劇場の建設があち
こちで見受けられますが、やはり神戸の中心地の三
宮にこそ、総合的な文化施設が必要だということ

感じていました。

元の国際会館は戦後の焼け野原に市民の中心的文化施設を作りたいという諸先輩方のご尽力で昭和三十一年にオープンされました。その後約四十年間、皆さんご存知のように文化の中心地として人々に親しまれてきました。それがこのたびの震災で取り壊されましたが、神戸の文化をもう一度盛り上げるためにも、このままではいかんという思いで県や市の協力も受けて、再建に臨んできたわけです。

―新しい国際会館はどのような建物になるのでしょうか

柏井 場所は以前と同じくそごうの南側に位置し、高層棟はオフィス街になります。中層棟の地下二階はショッピング街になり、さんちかと直接結ばれます。市営地下鉄海岸線が開通すれば、その改札とも直結される予定です。一階から三階にかけては郵便局や銀行が入り、都市のターミナル施設としても役割を果たすように考えています。その上が多目的大ホールとなる愛称「こくさいホール」です。ここは建物全体の規模の約二十％を占め、客席は二〇一八席取っています。正面と両脇にバルコニーを配置し舞台を取り囲む雰囲気を作り、視覚的にも魅力ある空間になっています。やる以上は中途半端にしないよう音響、照明、舞台機構などに最新の技術を導入し、様々なジャンルの催しに対応できるように作られています。八、九階部分には大小の会議室を設け、市民のみなさんの研修や会議やパーティーなどに幅広く使用していただけたらと思います。九階から十階にかけては飲食店舗が並び、高層階からの街並みや夜景を楽しみながら食事を楽しんでいただけるでしょうね。この中には「西村屋」さんや東京の中華料

理の老舗「維新號（いしんこう）」さんが出店される予定です。映画館も松竹系で百人から二百人程度の劇場が四館オープンします。最上階は最新マルチメディア機器を備えたインフォメーションセンターですが、そこに屋上庭園を作りガーデニングテラスにして、街の中にほっと安らぐ空間を作りたいと考えています。

―いろいろな機能が盛り込まれていますね

柏井 そうなんです。とにかく欲張って考えました（笑）。一つのビルでなんでも事足りるようにした



神戸復興のシンボルともいえる新しい神戸国際会館の外観完成予想図



新しいことにも大胆に挑戦していきますと語る柏井さん

かったです。もっと欲をいえば「国際」の名前どおり、以前は二十数カ国あった各国の領事館を神戸に呼び戻し、国際交流の拠点となるように持っていきたいですね。たとえば各国の友好協会の催しなどに積極的に利用していただき、国際都市神戸にもう一度目を向けてもらえればと考えています。

—文化の中心地にふさわしいシンボルがあると聞きましたか

柏井 こくさいホールの顔ともいえる舞台の緞帳の原画を、東山魁夷先生に制作していただきました。御自身が少年時代を神戸で過ごされたということもあり、震災後の神戸に何か応えたいという先生のお気持ちと新しい神戸国際会館のためにぜひ描いて欲しいという私の思いが重なり、実現しました。タイトルは「新生の樹」といい、 $9m \times 21.6m$ の大きさの中に、復興の象徴ともいえる新芽が森の中で育ちゆく様子が描かれています。また、ホール

の入口には富永直樹先生が制作されたバイオリンを弾いている少女の金色に輝くブロンズ像を設置する予定です。もう一つ陶芸家の新開寛山先生による「森の歓喜」という $1.9m \times 3.6m$ の大きさの陶製の壁画も飾る予定です。これは、ふくろうがコンダクターとなり、百羽以上の鳥がハーモニーを奏でているという、実にほのぼのとした光景が復興の喜びを表しています。これで新しい芸術文化の殿堂としての雰囲気づくり三点セットが整ったと思っています（笑）。

—ハード面は素晴らしいものが着々と仕上がっているところですね。ソフト面はいかがですか

柏井 朝比奈隆さんによる大阪フィルハーモニーのコンサートをはげら落としに予定しています。朝比奈さんは元の国際会館のこけら落としもされているのです。御本人もまさか同じ所で二回もするなんて思われなかったでしょうね（笑）。

いくら器が立派でもそれに見合った中身がないと人々は興味を持って足を運んでもらえませんが、これからは入れ物に負けないソフトの充実を考えていかなければなりませんね。

—これだけのものを作られるにはかなりの決断があったのではないですか

柏井 かなり強引にやったところはありますね（笑）。ただ、震災を経験したものはどん底を知っていますから、これ以上悪くなることはないという気持ちで新しいことにも大胆に挑戦していくことができるのです。神戸の文化復興は新しい神戸国際会館に全てかかっているというぐらいの大きな意気込みでオープンを迎えるつもりです。神戸の皆さん、どうぞご声援ください。

（株）神戸国際会館社長室にて

地域文化論

〈その214〉

阪神間ミュージアムを巡って
—スタンプラリー—

米花 稔

(神戸大学・福山大学名誉教授)



西宮の酒ミュージアム（白鹿）

阪神間に五十余のミュージアムがあるというのは、全国的にもきわめて特徴的である。そのうちの公私二十のミュージアムが昨年「阪神間ミュージアムネットワーク」を組織し、

この八月から十一月にスタンプラリーを始めている。五つをめぐると抽選で賞品をというので、年甲斐もなくこの八月中に十一を訪ねて、予想以上に興味をそそられた。平素、特定のテーマにひかれてミュージアムをみるのと異なった収穫であった。

八月というので子ども向けの企画が目立ったが、その筆頭として神戸市立博物館の「コメはじめ物語」が印象的であった。炊きたての御飯を

おいしくいただいている日々であるが、三千年前弥生時代からの米、中国長江流域から伝えられたコメづく

り、子ども向けの展示だけに面白く心うたれた。転じて伊丹市立美術館では「アート遊園地」がテーマの展示で、芭蕉の「奥の細道」の道筋を消印のある郵便切手で屏風化して「時間」と「空間」を結びつけた工夫と努力（太田三郎作）は面白かった。また芦屋市立美術館は「紙と遊ぶ」をテーマとするなかで、江戸から明治大正期に流行したという立版古（たてばんこ）という錦絵の人物や家をハサミで切り台紙に立体的に貼り合わせ舞台化するオモチャ遊びは芝居好きの筆者の興を呼んだ。近くの子どもの達の等身大の作品のロビー展示も面白かった。尼崎市立総合文化センターでの「乱太郎忍者の世界展」では作品とは別に忍者の諸道具の展示が面白かった。さらに兵庫県立近代美術館の「絵本原画の世界」をみて、絵画表現の多様性を教えられた。

ミュージアムを巡るうち地域性も印象深い。伊丹市立博物館の「歴史の道」としての「西国街道—伊丹から須磨—」は、西宮の筆者の自宅近く、昔の表示の石碑をみたりするだ

けに心ひかれパンフレットを買い求め楽しんでる。この西宮を中心に大正から昭和にかけてひたすら古代の石器類など遺跡を踏査発掘し続けノートに記録した「紅野芳雄考古小録」の展示は、地味なものながら心をうたれた。西宮市立郷土資料館でのことである。地域性といえば、西宮の浜近くの「酒ミュージアム」はその典型であろう。地震後の白鹿の再開の展示である。灘五郷地域であるだけに、今回のネットワーク参加ミュージアム以外にも、白鶴、菊正宗、沢の鶴などメーカーの資料館がある。

八月というので本来の美術展の少ないなか、西宮市大谷記念美術館で戦後ひとときの日本画の革新運動としての「パンリアル創世紀展」があった。美術の秋には神戸市立小磯記念美術館と県立近代美術館共同で、没後十年小磯良平展があるので楽しみにしている。

そして、スタンプラリーで何かあるかどうか楽しみになっている。



西国街道の西宮の門戸厄神への表示

■神戸ファッション都市宣言25周年記念座談会

「ネオ・神戸ファッション都市宣言」を

□出席者(順不同・敬称略)

田崎 俊作 (財)神戸ファッション協会 会長
田崎真珠株式会社取締役社長

松宮 隆男 (財)神戸ファッション協会
北野工房のまちづくりアドバイザー

西村 隆治 (財)神戸ファッション協会 副会長
沢の鶴株代表取締役社長

藤本ハルミ (神戸ファッションモナリスト 会長)
ファッションデザイナー

三好 栄三 (神戸ファッション美術館 学芸部長)

一九七三年、「神戸ファッション都市宣言」がおこなわれ、生活文化産業すべてをファッションとしたことは、大変画期的なことでした。

今年は、そのファッション都市・神戸誕生二十五周年の節目の年にあたります。神戸の復興が期待される中、ファッション業界の今後の動向は神戸内外の大きな注目を集めています。そこで、神戸ファッション業界を代表する皆様方にお集りいただき、今後の展開などを、産業・文化・国際的な視野から大いに語っていただきました。

尚、この座談会は、九月九日の「神戸ハイカラミュージアムⅡ」のオープニングセレモニー終了後にお話をお伺いしたものです。

★「粹に妖しく彩っぽく」

心安らぐファッションの街、神戸

田崎 今日先程、ハイカラミュージアムⅡの展示品を見て、産業としてのファッションと個人の生活としてのファッションがあるということが、はっきりと分かりましたね。「産業としては小さいけど伝統がある」といったものがたくさん出展されていて、兵庫県がいかに豊かな食文化をもっているかを見直しました。一つの産業、また一つの企業



田崎俊作さん



松宮隆男さん



西村隆治さん



三好栄三さん



藤本ハルミさん

としてはかり捉えて、この産業の中ではこの会社が強いとか弱いとかという結論ばかりが先に出るから小さな、隠れたものが出てこないわけですよ。

また、生活文化としてのファッションが兵庫県にいかにも味わいよく育ってきたかを感じましたね。これらをきめ細かく宣伝し、観光客がきたら産業を挙げてサービスする、例えばお酒であれば飲み放題、真珠であればつかみ取り…(笑)。そんな精神をもって、地場産業が頑張ればどんどん発展するのではないのでしょうか。

松宮 大量生産の時代はもう終わりだとかダメだといわれているのは、間違いですね。生活の基盤となる産業がきちんとなかったら、我々は利便性のある生活を享受できなくて困るわけですよ。それとは別に「自分らしさを表現したい人」が「こんな服着たい」とか「ちよつと高いけど、こんなチョコレートが欲しい」ということがもう一つの意味での生活文化、仕事として成り立っていると思うんです。両方が必要なわけですね。

しかし、田崎さんいわれましたように「きめ細かく感性に訴えていく」ということが必要ですね。これからの時代、小さいところは「感動のビジネス」でないといけないですよ。「感動のビジネス」こそファッションだと僕は思うんですね。

つまり「粋に妖しく彩っぽく」というのが安らぎの街、神戸のテーマですね(笑)。「粋」というのは、いわば「authentic」ですね。「妖しく」というのは、ファッションなんてどこか妖しくて、色気があって、艶っぽくないといけないわけですよ(笑)。「彩っぽく」というのは、つまり「いろいろく街」、街がいろいろいてないとリゾートじゃない。例えば、ファッション美術館とか、絵になるものをたくさん神戸に散り

ばめないと、人はやってこないんです。

やすらぐためには、神戸も、もう少し肩の力を抜いた方がいいと思いますね(笑)。

西村 生活文化産業をファッションという言葉の中に取り入れたのは、日本でも初めてのことらしいですね。

神戸市と兵庫県の食品産業は、今は工作機械に次いで二位ですが、八年ほど前まではトップでしたから、今も食に関しては強いんですね。実は、その中で兵庫県も神戸市もトップはお酒なんです(笑)。

それから「ハイカラ神戸」となると、我々はお客がないんです(笑)。というのは、うちと櫻正宗さんは一七一七年創業、宮本の発見が一八三四年と、全部明治以前ですからね。神戸には、兵庫の津もあるし、湊川神社もある。神戸を考えると、もっと深いところでの全体像をだしてもいいのではないかと思いますよ。

食についていえば、神戸の中華街がかつて存続できなかったのは、お客さんがぜんぶ和風の中華に変えさせてしまったからという位、神戸の人は食に関する感性が鋭いんですね。同化性があるわけですよ。関西の中で最も洗練され、繊細な味をだしているのは神戸ですね。

ファッションって、流行だといいますけど、僕はsophisticate(優雅で、洗練された繊細さ)ってだとおもいますね。また、文化というのは楽しむことですから、楽しくsophisticateに神戸ファッションを普及できたと思いますね。

藤本 私は、オートクチュールのな、自分の個性を発揮するのがデザインナーだと思って、ずっとそろば

ん勘定無しに自分の作りたい服を作ってきました。

神戸にいたからやってこれたと思うし、神戸は「ものを創る」のに非常にいい環境だと思います。

というのも、神戸の人は店でもなんでも、味が落ちたらすぐさつとどこかにいってしましますよね。そういう洗練された、目の鋭い素人がたくさんいるということは、自分の腕を磨くには最適の場所ですね。

しかも、神戸の人は「千円が安い、百万円が高い」という感覚じゃなく「値打ちがあるかないか」で評価してくれるところがありますね。

松宮 一時、ファッションっていったら「人並みに」という時代がありました。それは、量産された服を着るということですね。「〇〇の洋服が着たい」と思うのは、自分らしさの表現を求めるところで、そこに本当のファッションがあるという気がしますね。「量産化体制」工場、工房「私だけのもの」とつながると思うから、工場と工房は違うんだと一生懸命言い続けているんです。

「自分らしさ」っていうのが神戸の一つの商売のやり方なんです。昔は「自分らしさを求めたかったら、神戸へいらつしやい」だったんです。

藤本 ファッション都市宣言も何もしていない時代、みんな神戸に服を作りにきていたんですね。今、底辺は確実にあがってますよね。でも、すごく優れたものを求める心が失われているんです。

三好 先ほど松宮さんがおっしゃったように、そろそろ二十五年前の高度経済成長と一緒に「行こう！」という感じのファッション都市宣言から、もう一歩新しい段階にはいって、もつとのんびりした、豊かな「ネオ・ファッション都市宣言」をした方がいいと思います。同時に、先ほど西村さんが



神戸ハイカラミュージアムⅡのオープニングセレモニーの様子。兵庫・神戸の伝統産業や物産品がところせましと並べられ、参加者も楽しそうに見いていた

おっしゃったハイカラ以前の古い歴史もきちんと捉えていくべきですね。

西村 「ハイカラ」にこだわりがあるんですね。そうした中に歴史をどういれていくか。とすると、何かそれを表す言葉を考えないと…。その言葉は「ファッション」かも知れないし、sophisticate、かも知れないですよ（笑）。

松宮 西村さんは学者さんなので、sophisticate、とおっしゃいましたが、僕はそれはつまり「幸せ」ということだと思いますね。「幸せなまちとは？ 幸せな企業とは？」と考えることが必要なんですよ。幸せ感がないまちはファッショナブルでもなんでもないですよ。神戸も人口が少ないとか、経済が…、なんてことを少しおいといてね（笑）、人間のスピードとスケールにあったまちでいいんですよ。

西村 子ども達のためにも「幸せを作ろうとするまち」にしないといけないですね。

★職人さんを大切に工房のまちに

松宮 僕は二十五年前のファッション市民大学の一回生なんです。当時はそれがすごく眩しかったけど、今考えるとどこかに高度経済成長の影があったような気がしますね。

三好 これから神戸が経済成長をしようと思ったら、よっぽど偏ったことをしなかつたらだめだと思えますよ。二十五年前は、ファッションという偏ったことをして成功した、今度は「のんびりと力を入れていこう」というふうに偏らせて…。

松宮 今は、非合理と思われることや経済性の悪いものが受け入れられると僕は信じてますけどね。そういう意味では工房のまちもそうですが、職人さん

を大事にするまことにしたいですね。

西村 日本は職人の国だったのにだんだんそれが減ってきましたね。職人さんを大事にするまちを作るというのは、実は、日本の国家を繁栄させていくキーポイントだと思うんです。大量生産ならアメリカに負けまずけど、職人さんなら負けないですよ。

藤本 ファッションの学校もそうなんですけど、昔は「服を作ることを正確に教えていたんですが、今は、アパレルの企業にはいるためにはどんなことが必要かだけを教えて、肝心な事がすごく手薄になっています。パリのオートクチュールの学校というのは小さい部屋で、相変わらずボディを抱えてやっているんです。フランスっていう国は原点をこんなに大事にしていると感動しましたね。ものを作るという基本がないと、量産してもいい服はできないですよ。

松宮 神戸は職人さんを大事にするまちだというのが広まれば、世界各地から職人さんが集まる。彼等がお金を稼いで国に帰れば「神戸ドリーム」がうまれますよ（笑）。また、日本の職人さんが外国にいったって学ぶとかね、交流するまちなればローカルなだけに東京より強いかもしれませんよ。

★ネオ・神戸ファッション都市宣言を

松宮 僕らの世代は、高度経済成長の考えがどうしてもあるから、ネオファッション都市宣言というのは考えられないかもしれないですね。

西村 ネオというからには、今までの考え方を全部見直して、例えば、自然環境とか地球環境とかですね…。

三好 自然環境とかエコというのは、実はすごく人

工的な技術、能力、努力、資金が必要なわけですね。でも、あえてそれを今やるのが、将来的な経済性に結びつくと思いますね。

今、神戸は将来の力を貯える時期ですよ。北野工房のまちのように、今まであるものや古くなったものを再生していくことに重点をおくべきですね。ファッションマートでもファッション美術館でもKINECでもいいですが、それらを結び付け、多機能なシステムにまとめていく仕事に力を注ぐと思います。

西村 技術をもった本物の職人は、政治家より権威がありますよ。そういう人に教師をしてもらってファッション市民大学を再開するのもいいですね。

三好 技術の裏づけのある話や現場や社会の事実に基づいた話を若い人達は聞きたがっているんです。さらに、今の若い人達を引き付ける美味しいものを作ってあげないと。例えば、就職もできずとか、大学の単位がとれるとかね、そういうおしめを替えてやるみたいな事が必要なんです（笑）。

田崎 皆さんのお話を聞きながら、二十五年前砂野仁さんが「ファッション産業」じゃなく、「ファッション都市神戸」と言われたのはどういう思いつきだったのかと考えました。皆さんがおっしゃるように「お金もうけだけが産業でなければ、ファッションでない」ということまで見通していわれたかのよう感じました。砂野さんの志を継ぎながら、二十五周年ということだけでなく、新しい世紀を迎える曲り角においてのファッションの占める位置を、広く哲学的に産業としても文化としても捉え、新しいファッションの見直しを図りたいと思います。

ウェディング・ベルにつつまれて
ロマンティックに語る二人の夢



新商品

Finkle

「ココア」と「抹茶」それぞれの風味を大切に
に焼き上げました。

ティンクル

T-10(化粧箱 220×180×63) ¥1000



株式
会社

北 欧 の 銘 菓

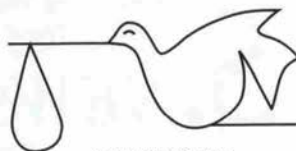
2-ハイム・コンフェクト

本 社 〒651-2117 神戸市西区北別府2-1-2

TEL078-974-9756 FAX078-974-9758

グランドール 神戸市中央区熊内町1丁目8-23

熊 内 店 TEL078-231-1428



SAMOTO CLINIC

**佐本
産科**

ママといっしょに



赤ちゃん：大道泰弘君（平成9年5月13日生まれ）

ママ：るり子さん

従兄弟：鶴川和之君・尚也君

「明るく元気な優しい子に育って下さい。」

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15

TEL:078-575-1024 (病室TEL:078-577-7034)

市バス上沢4停南スグ

●駐車場完備●

K.F.S. NEWS 191

神戸ファッション市民大学OBによるグループ
神戸のファッション都市化をめざす

事務局/神戸市中央区下山手通3-1-18
ツインストアビル4F 月刊神戸っ子内
TEL.078-331-2246
FAX.078-331-2795

★石原暁美KFS会長のパリサンディカル校特別研修レポート

「S'il vous plait (スィルヴプレ)！」
マダムレスパー先生の声が響く。「皆
さん聞いて下さい」という意味です
と通訳をして私たちをヘルプしてく
れる留学生のヒロミさん。必死に立
体裁断に取り組む手を止め、先生の
レクチャーを受ける。黒板の絵と文
字は仕事が大体は理解できるが、
講義となるとボランティアの留学生
が頼りである。朝9時から夕方6時
過ぎまで休みなしの授業はあとい
う間に過ぎる。きっかり1時間の昼
休みはセルフサービスのスーパーで
昼食をそこそこに済ませ、教室へ戻

る。慣れているはずの立体もなか
な思うようにシルエットが出ない。
やり直しをするほど上手になるとの
先生の言葉と笑顔にもう一度取り組
んでみる。

ここはバリオートクチュール組合
が経営しているサンディカル校。フ
ランス最高のファッション校であり、
サンローランや三宅一生が学んだこ
とでも有名。数年前から神戸ファッ
ション協会のコンテストでのグラン
プリ受賞者が1年間奨学金を受けて
この学校で学んでいる。校長のマダ
ムソーラー女史は神戸での最終審査
に来神され、同じ審査員であるKFM
会長の藤本ハルミ先生とも懇意に
なられた。通訳のグラン昭子さんと
の肝入りで昨年の藤本先生のパリで
のコレクションが成功、そして今回
の特別研修が実現されたのである。

参加者は20代から60代まで大学教
授から学生、実際に服作りに携わっ
ている人たちの12名。ちょうどシー
ズンの秋冬オートクチュールコレク
ションのモリハナエ、サンローラン
を幸運にも特別に見学することがで
きたり、クチュール工房見学と緊張



ソーラー女史(前列右から2番目)とレスパー先生
(前列右から3番目)を囲む研修参加者

の日々の連続であった。長い間この仕
事を続けてきた服作りの原点がまさし
く立体にあったことを再確認した研修
であった。ウイウイ、ノンノン、トレ
ージェリー。マダムレスパー先生の厳
しいけれどやさしい眼差しと心地よい
フランス語が今も耳に残る。

●KFS 25周年記念イベント

ファッション公開講座

ヨーロッパ1999年春夏

コレクション情報

日時/1998年11月26日(木)18時〜

場所/神戸ファッション美術館

オルヴィスホール

入場料/一般2,000円 学生1,000円

問合せ・申込先/木庭産業株式会社

木庭廣知 TEL. 078(321)1831

■10月マンスリーのご案内■

トークKFS(8月マンスリーでの課題を再検討)

日時/10月16日(金)

場所/にしむら珈琲会議室



人体模型で立体裁断を学ぶ石原さん(左)とレス
パー先生(右)

しっとりと、エレガントに女性らしさを演出しませんか？

TOTAL COORDINATE



あなたのカラーグループは？

肌や目の色には個人差があり、一人一人合う色も違います。色はSpring・Summer・Autumn・Winterと4つのグループに分かれます。同じ赤でも、鮮やかな赤、深い赤、と色々な赤があるのです。自分がいちばん輝いてみえるカラータイプを知ることは、洋服選びや、メイクをする時にとても役立ちます。



今年のファッションに合うメイクは？

流行のメイクが自分にあっていないとは限りません。あなたの魅力を引き出すメイクを見つけませんか？
カラータイプ別のトレンド傾向のとりいれ方や、お洋服や各シーンに合わせたメイクをアドバイス致します。



この洋服、いったいどう着ればいいのか？

「今年のトレンドのグレーの洋服、気に入って買ってはみたけど、なんか…」「昨年の服、今年風に着こなしたいんだけど…」とお悩みのあなた。どうぞ、そのお洋服をお持ちになって下さい。色の合わせかたやスカーフとの相性等、ファッションコーディネーターがあなたの個性を引き出します。

「青色は精神を沈静化させ安定させる作用があるから、シャツ等の色をブルー系にすれば催眠効果バツグン」といった話をお聞きになったことはありませんか？

私達をとりまく多彩な色が、さまざまな影響をもたらし、ストレスさえ緩和してくれます。

ブライダルを控えた方、ビジネスシーンでのプレゼンテーション能力を高めた方、日々の暮しを楽しみたい方、スマートな演出方法に関心のある方…。ファッションコンサルタントがあなたの魅力をパワーアップさせるお手伝いをいたします。

個人スタイリストをもつ贅沢な時間…。90分のカラーセラピーは、あなたの生活スタイル全般を豊かに彩ってくれるでしょう。小顔づくりへのフェイシャルストレッチやバランスウォーキングレッスンもあわせてアドバイスいたします！

90分パーソナルコース 5,000円

受付時間：AM9：00～PM6：30
ご希望の日時をご予約下さいませ。グループ予約可。

株式会社 オー・グー
☎ 078-391-9046

ファッションコンサルティング～人材教育・研修開発集団
ホームページ：http://member.nifty.ne.jp/haut-gout
本社：〒650-0033 神戸市中央区江戸町95リクルート神戸ビル12F
東京支社：〒150-0001 渋谷区神宮前4-19-8 アロープラザ原宿216

21世紀の新しい神戸を語るフォーラム

開け未来！神戸空港



川端直志さん
(都市計画プランナー)



加藤恵正さん
(神戸商科大学商経学部教授)



村上和子さん
(ジャーナリスト)

九月七日、神戸空港の早期実現をめざして、「二十一世紀の新しい神戸を語るフォーラム」が開催された。神戸で活躍する学識者、文化人たちが、神戸空港への期待、夢を語った。

★今つくっておかなければ、
神戸に空港はできない

神戸で活躍する学識者や文化人、事業者で設置した「二十一世紀の新しい神戸を語るフォーラム」(座長・流通科学大学学長伊賀隆さん)の第一回フォーラムが、九月七日、ポートアイランド・神戸国際会議場メインホールで開催された。平日にもかかわらず、約七〇〇名収容の会場には立ち見が出るほど多数の賛成派が詰めかけた。

主催者・社団法人神戸青年会議所の瀬戸口仁三郎副理事長のあいさつの後、「神戸空港と新しいまちづくり」をテーマに、都市計画プランナーの川端直志さんの基調講演が行われた。

「高齢化社会が到来すれば、空港を建設するのは難しい。いま、神戸につくっておかなければ、今後は困難。神戸空港は都市と一体になった環境づくりをめざし、二十一世紀に成長が予測される環境関連産業、医療福祉関連産業をとりこむ必要がある。」

★ダイナミズムが新しいビジネスを
創出する

基調講演の後は、パネルディスカッションに。神戸生まれの神戸育ちのパネリストたちに、南京町にアトリエをもつ画家の王さんが加わった。パネリストたちは、神戸空港への期待や夢をテーマに、ユニークな発言をくり広げた。

「空港により都市にダイナミズムが生じ、情報が創出されビジネスが発生する。神戸空港と既存の資源をうまく結びつけることが課題」(加藤さん)。

「神戸空港の開港により、ファッシ



小室豊允さん
(姫路獨協大学経済情報学部長)

山田芳信さん
(神戸デザイナーズ協会副理事長)

王少飛さん
(WM国際芸術家中心創立総代表)

小泉美喜子
(月刊神戸っ子代表取締役編集長)

橋本和典さん
(神戸青年会議所副理事長)

ヨンやソサエティの交流が深まれば、新しい文化が生まれる」(山田さん)

「上海まで帰省するのに、船で四十二時間。神戸から飛行機でひとつ飛びで帰省したい」(王さん)

「神戸に世界中の洋菓子マイスターを育成する学校をつくり、国内のみならずアジア中にその魅力を伝えてほしい」(村上さん)

「神戸空港がゆくゆくは国際空港になれば、神戸青年会議所が、第一便をチャーターして、アジアへ飛び立ちたい」(橋本さん)

「二〇〇五年といえば、震災からちょうど十年。神戸空港を震災復興のシンボルに、“世界復興博覧会”を」(小泉)

多くの市民が神戸に愛着をもち、定住指向も依然として根強いが、パネリストたちの意見からもその気持ちが伝わってくる。ハイカラで明る

く、進歩的で開放的な世界に開かれた空港の必要性を訴えた。

★二十一世紀は感性の時代 空港を窓口に変革をふやそう

世界の成長センターであるアジアでは、空港の拡張計画や新空港の建設が目白押し。増大する航空需要に対応できなければ、国際社会からとり残されてしまう。

神戸空港は当初、国内専用線として整備されるが、航空行政が規制緩和されれば、アジア各都市を結ぶ国際線が増便されてゆく可能性もふくむ。

「効率優先の時代は終わりました。二十一世紀は、“感性”の時代。神戸空港を窓口に変革をふやしていかねば」

最後は、コーディネーターを務めた小室豊允さんがフォーラムを、力強く締めくくった。



ユニークな意見を述べるパネリストたち

神戸空港のプロフィール

空港の種類／第三種空港
(神戸市が設置し、管理する空港)
位置／ポートアイランド沖約3km(三宮から約8km)
空港島面積／272ha
滑走路／2500m 1本
開港予定／平成17年
旅客需要見込み／開港当初 年間340万人
平成22年 年間420万人
就航路線(予定)／札幌、東京、福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇、但馬
事業費／約3100億円



「いい笑顔 咲かす兵庫に この一票」

10月25日(日)は投票日です！

・兵庫県知事選挙

・兵庫県議会議員補欠選挙

(神戸市北区、尼崎市、宝塚市)

■あなたの一票を大切に

前回(平成六年十月)の兵庫県知事選挙の投票率は三四・三五%と史上二番目の低さであり、これは実に有権者五人のうち三人以上が棄権したことになります。地域的にみますと、都市部での投票率が三〇・一一%で、郡部の投票率(五七・七一%)に比べて低さが目立ちました。

わたしたちの暮らしを守り、より良い社会にしていくなための大切な一票です。投票時間も二時間延長されましたので、無駄にすることなく必ず投票に行きましよう。

また、不在者投票もしやすくなりましたので、投票日当日に用事等のある方は不在者投票をしましょう。

●不在者投票

投票日に次の理由にあてはまる人は、不在者投票をすることができます。

【不在者投票事由】レジャー、旅行、仕事、冠婚葬祭などの用事があると見込まれる場合、病気やけがのために入院中で投票所に行くのが困難

であると見込まれる場合など(ほかにも不在者投票ができる場合がありますので、最寄りの選挙管理委員会にお問い合わせください)

【不在者投票場所】住所地や滞在地の市区町選挙管理委員会、入院中の病院など

【不在者投票期間】・兵庫県知事選挙は十月八日(木)～十月二十四日(土)

・兵庫県議会議員補欠選挙は十月十六日(金)～十月二十四日(土)

(なお、両選挙とも土、日も投票できます)

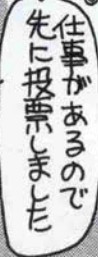
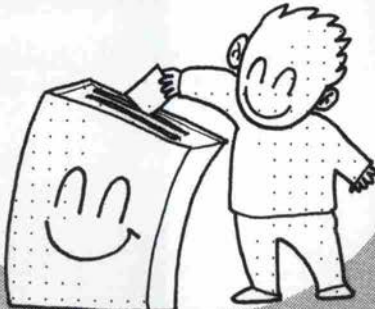
【不在者投票時間】原則として午前八時三十分～午後八時(前回の知事選挙の時は午前八時三十分～午後五時まででした)

【持参するもの】投票所入場券(なくても本人の確認ができれば投票することができます)

※印鑑は不要です。(前回の知事選挙の時は投票所入場券、印鑑ともに必要でした)

詳しくは最寄りの市区町選挙管理委員会までお問い合わせください。

大切な権利 大切な一票 さあ投票へ



4989

花組



真矢みき 千ほさち
ファイナル公演

※10/5まで 東京1000days劇場で「SP EAKEASY」「スナイパー」を公演中。
この公演でトップスター真矢みきと相手娘役、千ほさちが退団する。



大劇場千秋楽の真矢 退団する千ほさち

新トップスター愛華みれ始動

※10/31~11/18 全国ツアー
花組の新トップスターとして愛華みれがブレお披露目となる全国ツアー「春ふたび」「サザン・クロス・レビュー」を行う。



※10/31~11/15 伊織直加初主演
パウホール公演「Endless Love」

月組



宝塚大劇場公演

※10/26まで
柴田侑宏・作 謝珠栄 演出「黒い瞳」
三木幸雄・作 演出「ル・ボレロ・ルージュ」

黒い瞳
ニコライ/真琴つばさ(左) マーシャ/風花舞



「黒い瞳」は、18世紀後半の帝政ロシアを舞台に、プーシキン「大尉の娘」をベースに民族や身分を越えた純粋な恋愛を描いた作品。

「ル・ボレロ・ルージュ」は、こ人の心を揺さぶり、血をたぎらせるエスニックなリズムに彩られたラテンショー。月組のエネルギーが一気に爆発しそうな秋の公演。なおトップ娘役スター、風花舞は、ヒロイン、マーシャ役で退団する。抜群のダンス力も今回で見納めとなる。



退団する風花舞

I
N
F
O
R
M
A
T
I
O
N

宙組 ∞

あの感動を再び
ウィーンミュージカル
「エリザベート」前売開始

※10/30～12/20宝塚大劇場
今年誕生した宙組の2回目の公演は、
ウィーンミュージカル「エリザベート」。
歌唱力には定評のある姿月あさとが、
トート役で数々の名曲、難曲をどう歌いこなすか。2度目のエリザ
ベート役となる花總まりが、どんな演技
の変化を見せるか見所は多い。

チケットの前売りは10月1日から。



トート/姿月あさと



エリザベート/花總まり

星組 ★

麻路さき東京でラストステージ



※10/10～11/23

東京 1000days 劇場

トップスター麻路さきのさよなら公
演。「皇帝」「ヘミングウェイ・レビュー」
を上演。

皇帝ネロ、文豪ヘミングウェイと芝
居、ショーともにタイトルロールを
麻路が、宝塚の男役の魅力存分に演
じる。



大劇場千秋楽の麻路

雪組 ❄️

トップスター 轟悠
一人芝居に初挑戦



トップスター轟悠が9/23～27までバ
ウホールで一人芝居「F I C T I O
N」に挑戦。ジャコモ・カサノヴァ
の生涯をフィクションも交えた芝居
仕立てで演じた。劇中劇の主人公、
アントニオ他、生涯恋い焦がれた女
性、アンリエット、現代の青年など
を一人で演じる宝塚歌劇の新しい試
みとなった。



※10/9～10/19 香寿たつき主演
バウホール公演「凍てついた明日」
ボニー＆クライドの伝説がショーア
ップしたミュージカルとして上演さ
れる。



ある集い■兵庫県日本ロシア協会

国民どうしの友好をめざして40年

一九五六年十月、鳩山首相が訪ソし、日ソ共同宣言に調印して、国交回復が実現しました。その一年半後、日ソ協会兵庫県連が創立され、九十三年二月、ソ連邦解体に伴って現在の名称「兵庫県日本ロシア協会」に改称しました。協会が創立された頃には、南極で氷に閉じ込められた「宗谷」をソ連原子力砕氷船オビ号が救出、世界最初の人工衛星の打ち上げ、わが国での小児マヒの大流行にあたって九十年七月にソ連製生ワクチンが輸入され多くの子どもたちの命を守るなど、様々な出来事がありました。また、淡路の人影淨瑠璃の公演や、宝塚清荒神所蔵の富岡鉄斎の作品展の開催などがソ連において実現しております。

しかし、その後日ソ関係には多くの問題も発生し、協会もさまざまな困難に直面しました。この中で協会は、その時々の政治に左右されることなく、国民どうしの相互理解と友好を増進するために努力してきました。ソ連邦解体後もロシアだけでなく旧ソ連各地の人々との交流をつづけております。十月三十日にはアルメニアを代表するピアニスト、S・ナヴァサルジャンのリサイタルを開きますが、国際色ゆたかな新年もみの木まつり、ハバロフスクでの青少年キャンプ、ロシア料理の講習会、ロシア語講座、その他楽しい行事を年中開催しております。協会の特色は、中学生から八十代の人まで、あらゆる職業の人が参加しているところにあります。

(理事長/橘 武史)

■兵庫県日本ロシア協会

神戸市中央区中山手通4・10・5

神戸市教育会館2階

☎078・251・4534



ある集い■モダンタイムスビッグバンド

ジャズを楽しむ

音楽の楽しみ方にも色々あると思うが、ジャズの場合は、いつでも気軽に楽器を持ち寄り演奏が出来る。我々のバンドも最初のころは、ジャズ好きの仲間が何人か集まって演奏を楽しんでいた。その後メンバーも徐々に増えビッグバンドのサウンドを楽しめる様になった。メンバーの殆どが会社勤めのため、仕事でのストレスをジャズで解消出来るという利点がある。月2回の練習日には、全員が集まり気持ちを一つにしてリズムに乗り適度の緊張感、興奮を感じながら演奏を存分に楽しむのである。

練習する曲は、主にスイングジャズ、モダンジャズであるが、やはりデュークエリントンやカウントペーシーなどは難しくても演奏していて楽しい。ビッグバンド結成以来十四年ともなると、練習の成果を発表する場も色々と広がり、年一度の自分たちのパーティー以外にも兵庫県内外での様々なライブを経験させてもらった。一番印象に残った演奏と言えば震災の二カ月後に北野で開かれた「震災復興ジャズライブ」で熱心に聞き入る観客以上に感動しながら演奏した時のこと。「ジャズをやっていて良かった」と感じた瞬間だった。これからもジャズを楽しみたいという仲間たちと一緒に仲良くやっていきたいものだ。

(代表/目下 雄介)

■モダンタイムスビッグバンド

毎月2回練習 午後7時〜9時

六甲勤労市民センター（JR六甲道南

078・841・1711